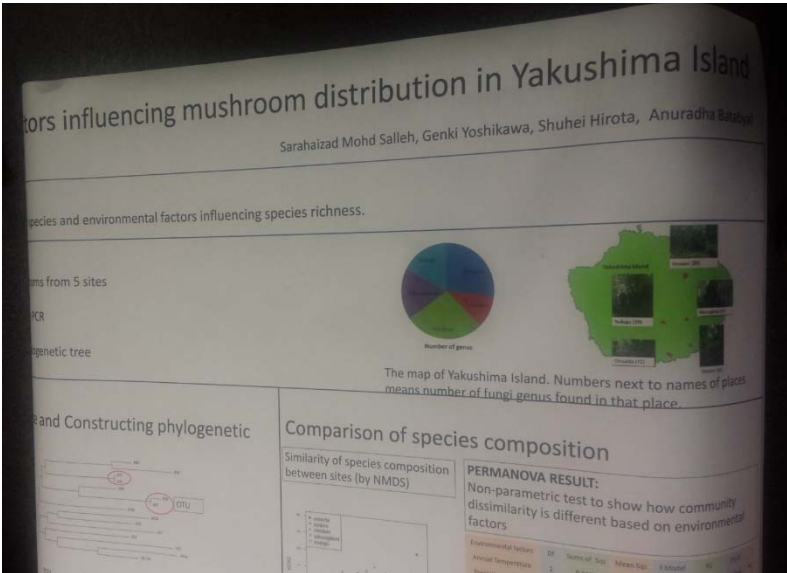


「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 27 年 7 月 7 日	
所属部局・職	バイオインフォマティクスセンター・修士課程学生
氏名	吉川 元貴

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)	
京都大学	
2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)	
ゲノム実習 キノコの実験	
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)	
平成 27 年 6 月 2 日 ~ 平成 27 年 6 月 8 日 (5 日間)	
4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)	
京都大学	
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)	
<p>写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。</p> <p>今回の実習では、屋久島フィールド実習で採取したキノコを用いて、シーケンシングの手法や DNA による種の同定を学んだ。 キノコの各サンプルについて、PCR やサイクルシーケンスで DNA バーコードのマーカを増幅し、シーケンシングをおこなった。その後、DNA 配列をもとに系統樹の作成や種の同定をおこなった。その結果、いくつかの配列はデータベースに登録されていないものであると分かった。これらの配列をデータベースに登録することで、データベースの充実を図ることができるだろう。実習の最後には、フィールド実習の結果と合わせて、国際セミナーでのポスター発表を行った。 今回のゲノム実習に参加して、遺伝子配列を決定するまでの実験工程を体験しながら学ぶことができた。この機会を得て、実際のサンプルからデータベースを利用する過程を知ることができたので、これからの研究に役立てていこうと思う。</p>	
	
<p>図 発表に用いたポスター</p>	
6. その他 (特記事項など)	
<p>今回のゲノム実習において、ご指導いただきました佐藤様、布施様をはじめ、実習中お世話になった方々に深く感謝申し上げます。</p>	